

時代を先行く

新・鬼火焚き

毎年楽しみにしている保育士のステ
ージは今年もあきらかに演
じた。フワちゃん予
想はコロナにかき
消され開場にはノ
スタルは千秋がい
りた。来年は千秋ク

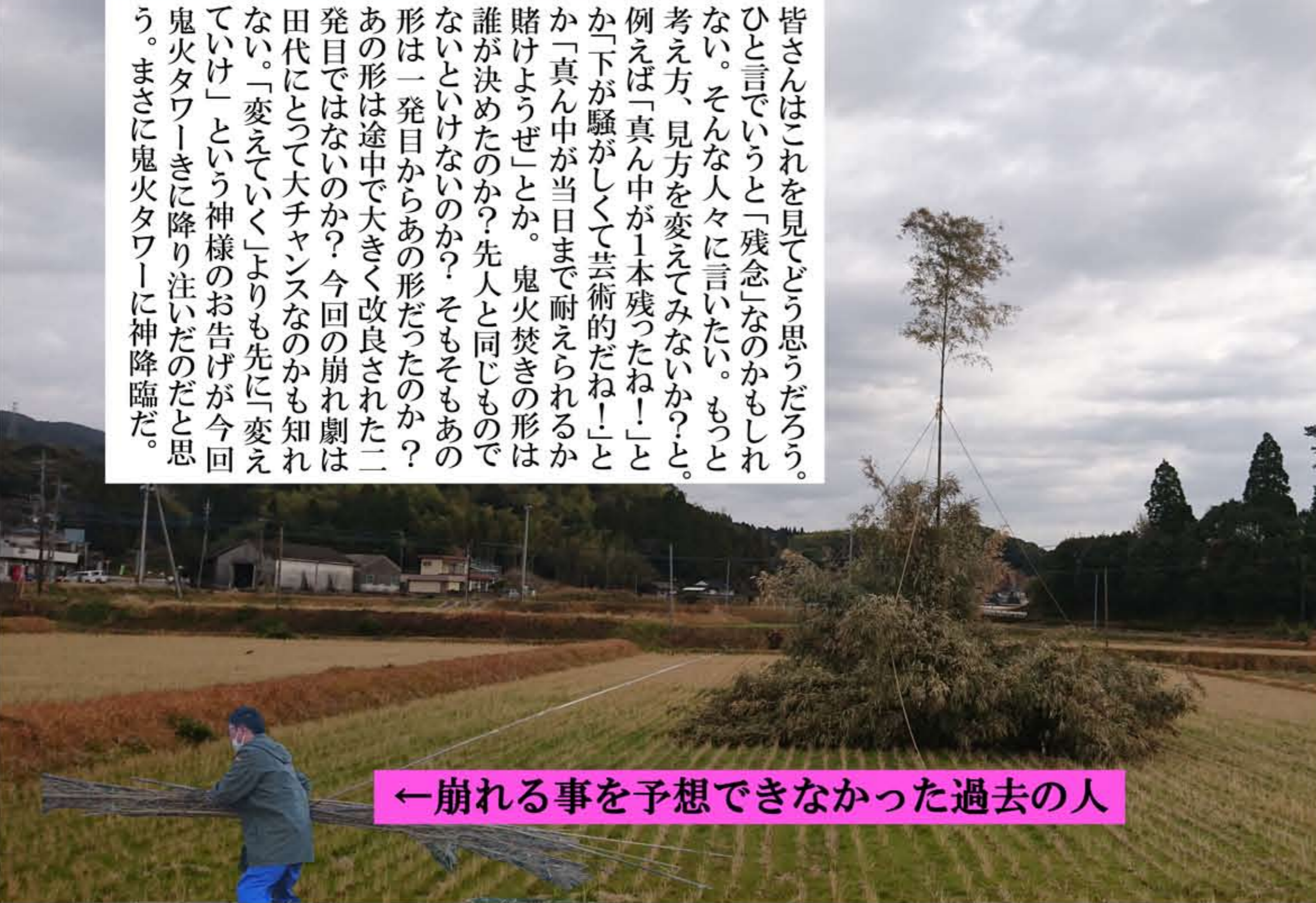
田代保育園クリスマス会 幻に終わったフワちゃん



田代Aマートにて
絶賛販売中
大豆100%使用
田代100%
農産物産地
田代産
田代産
田代産

農村スポーツ
NOUSON SPORTS
2020年 12月29日
農村スポーツ新聞社
899-2311
鹿児島県日置市東市来町養母6586-1
No.3148号
https://www.nouson.co.jp ※このURLはなんちゃってです。

皆さんはこれを見てどう思うだろう。ひと言でいうと「残念」なのかもしれない。そんな人々に言いたい。もつと考え方、見方を変えてみないか？と。例えば「真ん中が一本残ったね！」とか「下が騒がしくて芸術的だね！」とか「真ん中が当日まで耐えられるか賭けようぜ」とか。鬼火焚きの形は誰が決めたのか？先人と同じものでないといけないのか？そもそもあの形は一発目からあの形だったのか？あの形は途中で大きく改良された二発目ではないのか？今回の崩れ劇は田代にとって大チャンスなのかも知れない。「変えていく」よりも先に「変えていけ」という神様のお告げが今回鬼火タワーに降り注いだのだと思う。まさに鬼火タワーに神降臨だ。



←崩れる事を予想できなかった過去の人

楽観的思考でシナリオを描ける。ある日「崩れた」との情報が入った。その時点でほとんどの田代住民は認識済だった。それは田代の中心にそびえ立ち、メインストリートを通り抜ける車内からガツツリ確認する事ができ、仮にツアーバスがそこを通ったとしたら車中のバスガイドが「あちらに見えますのは時代を先行く、新鬼火焚きで御座います」と言えば「崩れてんとちゃうの？」と疑問に思ったツアー客がスマホで「田代鬼火炊き」と検索し、田代のホームページに辿り着き、田代のファンタジーを堪能したその客が拡散し、田代がメジャーになるというシナリオを考えれば今回の「崩れ」は悲観的になるのではなく心の奥底で大いに喜べばいいと思う。実際にそびえ立った鬼火タワーは話題にはならないが、かたちを変えた鬼火タワーは間違いなく話題になる。本番の鬼火焚きを前に鬼火焚き号を発刊してしまっただけで、進化にセオリーはない。決め事は一瞬の価値でしかなく時代はそれを必要としてはいない。



「今」を「残す」崩れる前に記念撮影もしたが、バンと決まった写真はあまり好きではない。目を瞑ったとか横を向いたとか、カメラをしっかりと見ていなければやり直しとか、重要なのはそこではなく、その時の情景というリアルな今を残す事に味があり大切な事だと思ふ。だから鬼火焚き準備のリアルな今を載せてみた。これは大人達が「ほら、はやく並んで」と声をかけていた時の瞬間。約8割が言う事を聞いていない瞬間だ。ザ・リアル

資源回収の時
小さい子供達ってここで遊ぶよね

毎回終始立っているだけの人がいるよね

歴史的悲報！
マジで消えたあの帽子
もう無理。。。



これまで公民館に放置された帽子を掲載してきたが、とうとう消えた。放置に対しての指摘ではなく、ダチョウ倶楽部の「押すなよ」方式で「捨てるなよ」というフリであった事は理解されていると思っていた。たかが帽子ではない。これが永遠に残る事によってネタはビッグバンのように広がり、映画化も可能だった。悔しっ！

ロックバンド「タシロック」
2021年始動か!?
いや、まだだ。まだ忙しい!

2021年1月の天気